

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	じぶんみらいココイロ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人の就労移行支援事業や、就労定着事業、就労継続支援事業等と連携を組み、実際に就労実習を組み合わせた活動を取り入れることが出来る。	長期休暇期間など、活動時間が長くとれる時には、就労体験を行い、また、就労移行事業の先輩たちと一緒に座学に参加する等、卒業後について考える取組みを行っている。	障がい雇用をしている企業や就労支援事業所等の見学、また、卒業後の進路に向けての情報提供や相談も、さらに積極的に行っていく。
2	同世代の仲間が多いため、互いに切磋琢磨して活動に取り組みステップアップしている。また、その年齢に合った活動を充実させることができる。	小学校高学年から気になる性教育等も可能な範囲で取り組み、時には児童と一緒に考える時間を設けている。性の課題が見られた時は、保護者と連携し、統一した支援を考え、一緒に取り組めるようにしている。	卒業後の自立した生活を踏まえ、今必要な支援方法を保護者へ伝えることや、課題解決に向けての相談支援等も充実させていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケートにて、通所を楽しみにしていない児童が一人いたことが課題である。	本人が難しいと感じる活動があったのではないかとと思われる。	全員が楽しめて取り組めるよう、障がいの程度によって活動内容を変化させたりしたり、問題の提起方法を分かりやすくする工夫が必要である。また、個別の学習や、個人の力を伸ばすための自立課題を充実させるなど、必要な支援方法の幅を広げ、個別活動の内容を深める必要がある。
2	職員の学習する時間が少ないこと。	毎日の業務に追われ、職員間での話し合う時間や研修、訓練を設ける時間配分ができていないと思われる。	各職員、業務に対する時間配分を行い、個々に必要な学びを提供する必要がある。そのために、業務内容を見直し、研修や訓練、会議などを充実させていく必要がある。
3			